

愛知中小企業家同友会景況調査報告

— 1998年8月 —

底打ち感ないまま、最悪水準更新続く

【概況】

業況がさらに厳しくなっています。業況判断について「よい」と答えた企業が5%にまで落ち込む一方、「悪い」とする企業が63%にまで達しました。前者から後者を差し引いた「業況判断」DIは△58を示し、1997年2月以来7期連続の悪化、4期連続の最悪水準の更新という結果になりました。次期（11月）についても、「悪い」と予測する企業が66%もあり、依然として底打ちが確認できない状況です。

前年同月と比べて業況が「悪化」したと答えた企業の割合は73%にまで達しており、まさに景気は真っ暗やみの中にあるといえます。個人消費の低迷が続いているだけでなく、アジア経済危機が長期化の様相を示し、さらには順調だった欧米諸国経済にも変調の兆しが見え始めています。景気の悪化やその長期化を予測させる要因は見出せても、好転を予測させる要因はほとんど見出せないのが現状です。こうした中、昨年までは比較的元気であった工作機械関連の製造業でも、いよいよ仕事不足を嘆く声が聞こえるようになりました。

さらに重要なことは、今後金融面からの「デフレ圧力」が一層強まるのではないかと予測されることです。金融機関の不良債権処理がより厳しく実行されていくとすれば、いわゆる「貸し渋り」現象が再燃しかねません。ただでさえ資金繰りが厳しくなる年末に向けての「貸し渋り」は、中小企業に致命的な打撃となりえます。金融再生は経済再生のための不可欠なプロセスではありますが、これを実体経済への「デフレ圧力」をいかに避けながら進めるかに行政担当者の知恵が発揮されなければなりません。もたつく国会での金融問題論議に対し、こうした視点から中小企業が連帯して声を上げていくことも必要になるでしょう。中小企業のみならず、中小企業運動の真価が問われる時代だといえます。

【調査要項】

- ①調査時 1998年8月28日～9月3日
- ②対象企業 愛知中小企業家同友会、会員企業
- ③調査方法 調査書をFAXで発送、自計記入、FAXで回収
- ④回答企業 641社より、221社の回答をえた（回収率34.5%）
（建設業39社、製造業77社、流通・商業47社、サービス業58社）
- ⑤平均従業員 21.6人

なお、本報告は愛知中小企業家同友会情報ネットワーク委員会（委員長、村上琇樹・村上電気工業(株)社長）が実施した調査結果をもとに、景況分析会議（座長、山口義行立教大学助教授）での検討を経てなされたものである。

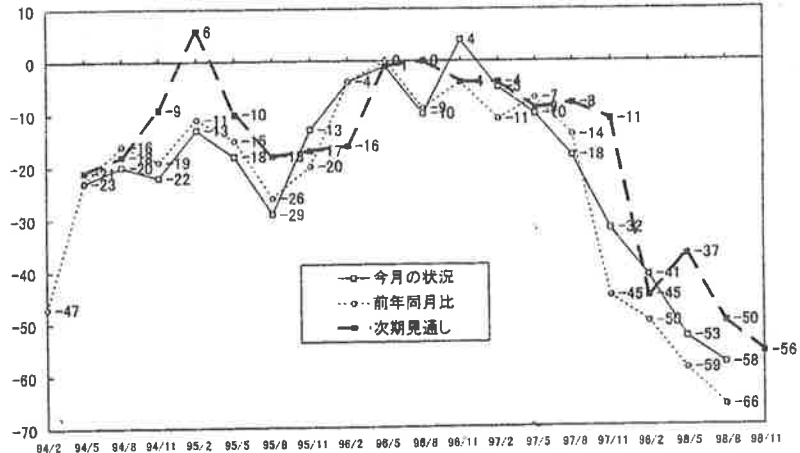
【業況判断】

業況判断最悪を更新

「今月の状況」DIは4期連続で調査開始以来最悪の結果を更新した。7期連続で「悪い」超過幅が拡大し、前回調査比5ポイント悪化の $\Delta 58$ となった。これは「よい」と答えた企業が前回比3%減少したのに加え、「悪い」と答えた企業が全体で2%増加したためである。また、次期見通し（全業種）についても65%の企業が「悪い」とみており、DI値も $\Delta 56$ まで低下した。

業種別では、前回35ポイントの大幅な悪化を示した流通業が26ポイント（ $\Delta 74 \rightarrow \Delta 48$ ）、建設業でも17ポイント（ $\Delta 65 \rightarrow \Delta 48$ ）の改善を示す結果となった一方、前回43ポイントの大幅な回復を示したサービス業が51ポイント（ $\Delta 10 \rightarrow \Delta 61$ ）の大幅な悪化、製造業も13ポイント（ $\Delta 52 \rightarrow \Delta 65$ ）の悪化を示した。製造業は4期連続の悪化である。また、前年同月比DIについても、ほぼ同様の状況が確認できる。全業種のDI値は $\Delta 66$ と前回比7ポイント悪化し、やはり調査開始以来最悪の結果である。流通業が26ポイントの大幅な回復を示した以外は、サービス業（ $\Delta 12 \rightarrow \Delta 51$ ）、製造業（ $\Delta 59 \rightarrow \Delta 70$ ）、建設業（ $\Delta 72 \rightarrow \Delta 75$ ）がそれぞれ悪化を示した。サービス業と製造業では7割強の企業が、建設業においては83%の企業が前年同月比で「悪化」したと答えている。

業況判断DI(全業種)



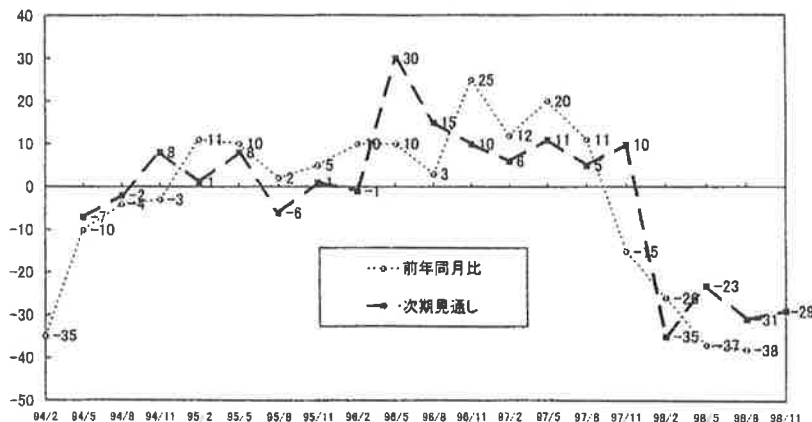
サービス業が51ポイント（ $\Delta 10 \rightarrow \Delta 61$ ）の大幅な悪化、製造業も13ポイント（ $\Delta 52 \rightarrow \Delta 65$ ）の悪化を示した。製造業は4期連続の悪化である。また、前年同月比DIについても、ほぼ同様の状況が確認できる。全業種のDI値は $\Delta 66$ と前回比7ポイント悪化し、やはり調査開始以来最悪の結果である。流通業が26ポイントの大幅な回復を示した以外は、サービス業（ $\Delta 12 \rightarrow \Delta 51$ ）、製造業（ $\Delta 59 \rightarrow \Delta 70$ ）、建設業（ $\Delta 72 \rightarrow \Delta 75$ ）がそれぞれ悪化を示した。サービス業と製造業では7割強の企業が、建設業においては83%の企業が前年同月比で「悪化」したと答えている。

【売上高】 【経常利益】

売上高、経常利益ともに最悪を更新

売上高DI（前年同月比）は前回比1ポイント悪化の $\Delta 38$ となり、調査開始以来最悪の結果となった。業種別で見ると、前回大幅に改善したサービス業が16ポイント（ $\Delta 5 \rightarrow \Delta 21$ ）、また製造業も1ポイント（ $\Delta 44 \rightarrow \Delta 45$ ）の悪化を示した。一方、前回57ポイントの大幅な悪化を示した建設業が8ポイント（ $\Delta 35 \rightarrow \Delta 26$ ）の改善を示し、流通業も9ポイント（ $\Delta 35 \rightarrow \Delta 26$ ）改善した。次期見通し

売上高推移DI(全業種)



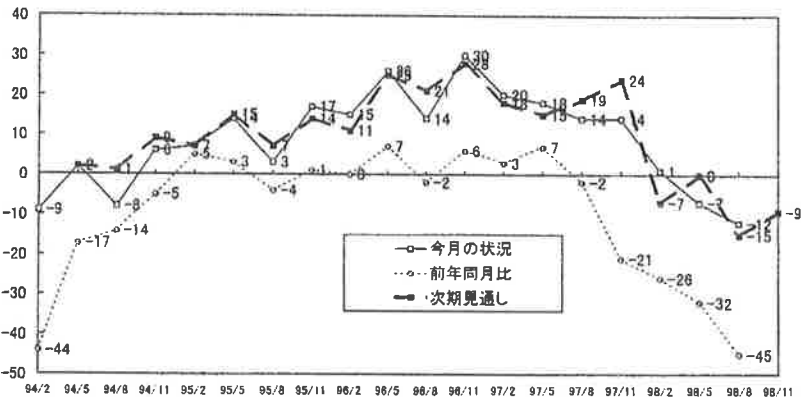
サービス業が16ポイント（ $\Delta 5 \rightarrow \Delta 21$ ）、また製造業も1ポイント（ $\Delta 44 \rightarrow \Delta 45$ ）の悪化を示した。一方、前回57ポイントの大幅な悪化を示した建設業が8ポイント（ $\Delta 35 \rightarrow \Delta 26$ ）の改善を示し、流通業も9ポイント（ $\Delta 35 \rightarrow \Delta 26$ ）改善した。次期見通し

では、50%を超える企業が売上高の「減少」を見通しており、依然として先行きに対する不安感をぬぐえない状態が続いている。

経常利益DI（前年同月比）も13ポイントの大幅な悪化を示し、4期連続で調査開始以来最悪の結果となった。流通業で6ポイント

（ $\Delta 34 \rightarrow \Delta 28$ ）の改善がみられたものの、サービス業が35ポイント（ $\Delta 5 \rightarrow \Delta 40$ ）と大幅に悪化したのをはじめ、製造業（ $\Delta 39 \rightarrow \Delta 53$ ）建設業（ $\Delta 46 \rightarrow \Delta 58$ ）ともに悪化した。次期見通しにおいては、流通業とサービス業で黒字を見通す企業が赤字を見通す企業を上回ったものの、全業種でみれば $\Delta 9$ と、先行きに対して厳しい見通しを立てている企業が多い。

経常利益推移DI(全業種)



【在庫】

「増加」超過に転じ、「過剰感」強まる

前回 $\Delta 6$ と「減少」超過となった在庫DI（前年同月比）は、今回4と再び「増加」超過に転じた。これは在庫が「減少」したと答えた企業が前回に比べ5%減少する一方で、「増加」したとする企業が6%増加したためである。業種別では製造業（ $\Delta 2 \rightarrow \Delta 6$ ）流通業（ $\Delta 11 \rightarrow \Delta 2$ ）ともに「増加」超過に転じている。また「在庫過剰感」を示すDIも前回の15から今回は21と再び強まりつつある。次期見通しでも16と、先行き在庫過剰を見通す企業が不足を見通す企業を上回っている。

【価格変動】 【取引条件】

価格の低下続く

前年同月比でみた価格変動DIは6期連続で「低下」超過幅が拡大し、全業種で6ポイント悪化の $\Delta 57$ となった。業種別では流通業が $\Delta 53$ と横ばいであったが、それ以外の3業種は押し並べて悪化を示した。とりわけ前回大きく改善したサービス業が $\Delta 18 \rightarrow \Delta 47$ と大幅に悪化したのが目立つ。需要低迷下での競争激化が価格低下を引き起こすという傾向が依然として続いていることを示唆するものである。また、取引条件DI（前年同月比）も $\Delta 27 \rightarrow \Delta 32$ と5ポイントの悪化を示した。次期見通しでも先行き価格低下・取引条件悪化を見通す企業が多い。

【資金繰り】

「窮屈感」増す。見通しにも厳しさ

資金繰りDIは $\Delta 34 \rightarrow \Delta 42$ と8ポイント悪化し、3期連続の悪化となった。今回調査では、調査開始以来はじめて5割を超える企業が資金繰りは「窮屈」と答えた。業種別でみると、「窮屈」と回答した企業が7割に達した建設業が $\Delta 41 \rightarrow \Delta 60$ と19ポイント悪化した。また、サービス業は $\Delta 8 \rightarrow \Delta 40$ と32ポイントの大幅な悪化を示し、製造業も $\Delta 28 \rightarrow \Delta 42$ と悪化した。一方流通業は $\Delta 51 \rightarrow \Delta 33$ と18ポイント改善した。また「次期見通し」でも57%の企業が先行き資金繰りが窮屈になると見通している。

【施設稼働率】 【設備過不足】

施設稼働率の「低下」超過幅縮小

施設稼働率D I（前年同月比）は $\Delta 31 \rightarrow \Delta 27$ と4ポイント「低下」超過幅が縮小した。業種別では、製造業が $\Delta 43 \rightarrow \Delta 36$ と「低下」超過幅が縮小する一方で、流通業では $\Delta 11 \rightarrow \Delta 12$ と「低下」超過幅が拡大した。次期見通しにおいては $\Delta 22$ と、先行き稼働率が「低下」すると見通す企業が「上昇」すると見通す企業を大幅に上回った。設備過不足D Iは $8 \rightarrow 1$ と「過剰」超過幅が縮小した。業種別では製造業で $25 \rightarrow 12$ と「過剰」超過幅が縮小し、サービス業では $\Delta 4 \rightarrow \Delta 20$ と「不足」超過幅が拡大した。一方、建設業では $\Delta 6 \rightarrow \Delta 4$ と「不足」超過幅が縮小し、流通業は「不足」超過に転じた。

【雇用】

「過剰」超過続く

全業種でみた雇用動向は $12 \rightarrow 11$ と、1ポイント「過剰」超過幅が縮小した。建設業・製造業・流通業ではそれぞれ「過剰」超過幅が縮小したが、唯一「不足」超過であったサービス業が $\Delta 19 \rightarrow 7$ と「過剰」超過に転じた。また、次期見通しにおいても雇用が「過剰」になると答えた企業が、「不足」を見通す企業を上回っており、依然として雇用過剰感がぬぐえない状況にある。

【経営上の力点など】

引き続き「民間需要の停滞」がトップ

「経営上の問題点」の項目では、引き続き「民間需要の停滞」が第1位であった。業種別では建設業が2ポイント低下したものの依然として8割近い企業が問題点としてあげているのが目立つ。第2位は前回に引き続き「販売先の値下げ要請」であった。「経営上の力点」では、「新規受注（顧客）の確保」「付加価値の増大」が高い比重を占めている。

<会員の声>

（食品小売）

食品業界では最近とくに企業間格差が拡大している。東海三県でのスーパーの出店はすくなく、この三年では百店以上の大型店が出店する。ただ消費が回復したからの出店ではなく、「大店法」との関係でなの駆け込みである。今後過当競争が展開されるだろう。

（省力化機械設計製作）

工作機械関係はマザックが27%ダウンしたように、今年の三月まで利益が上がっていたが、四月から急激にダウンした。当社でも福祉産業の機械製作に転換していきたい。

愛知中小企業家同友会景況調査報告 No. 19

1998年 9月25日発行

編集・発行 愛知中小企業家同友会
情報ネットワーク委員会

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目5-18京枝屋ビル4階
電話 052(971)2671(代) ファクシミリ 052(971)5406

【資料】DI値推移一覽

<今月の状況>

経常利益DI

	94年				95年				96年				97年				98年		
「黒字」-「赤字」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-9	2	-8	6	7	14	3	17	15	26	14	30	20	18	14	14	1	-7	-12

在庫感DI

「過剩」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	19	25	15	15	8	16	18	13	10	18	12	11	19	22	7	10	16	15	21

資金繰りDI

「余裕」-「窮乏」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-43	-33	-39	-41	-38	-34	-34	-28	-32	-27	-30	-32	-28	-29	-29	-27	-32	-34	-42

設備過不足DI

「過剩」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	10	7	3	5	-4	-2	-1	-5	-8	-11	-8	-21	-16	-14	-13	-5	-4	8	1

雇用動向DI

「過剩」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	11	7	-2	1	-8	2	-1	-3	-14	-7	-11	-22	-17	-11	-22	-8	-6	12	11

業況判断DI

「良い」-「悪い」		5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種		-23	-20	-22	-13	-18	-29	-13	-4	-1	-10	4	-5	-10	-18	-32	-41	-53	-58
建設業		-9	-29	-36	-30	-12	-12	-30	-20	-11	-10	0	18	-35	-29	-41	-48	-65	-48
製造業		-33	-23	-17	-8	-29	-40	-14	-2	2	-4	0	-4	-9	-2	-25	-33	-52	-65
流通業		-30	-13	-18	-7	-25	-7	0	-15	-6	-38	0	-31	-14	-28	-49	-39	-74	-48
サービス業		-11	-12	-24	-17	0	-44	-8	33	7	7	12	4	9	-26	-21	-53	-10	-61

<前年同月比>

売上高DI

	94年				95年				96年				97年				98年		
「増加」-「減少」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-35	-10	-4	-3	11	10	2	5	10	10	3	25	12	20	11	-15	-26	-37	-38

経常利益DI

「好転」-「悪化」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-44	-17	-14	-5	5	3	-4	1	0	7	-2	6	3	7	-2	-21	-26	-32	-45

在庫感DI

「増加」-「減少」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	14	-10	-7	6	6	5	4	2	0	7	6	3	16	6	-1	2	5	-6	4

価格変動DI

「上昇」-「低下」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-61	-59	-53	-56	-47	-48	-49	-52	-34	-35	-31	-28	-26	-29	-34	-42	-48	-51	-57

<前年同月比>

取引条件D I

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「好転」-「悪化」																			
全業種	-26	-21	-22	-24	-29	-19	-21	-21	-14	-11	-17	-18	-18	-14	-16	-21	-29	-27	-32

施設稼働率D I

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「上昇」-「低下」																			
全業種	-40	-20	6	2	4	-16	-8	-2	6	7	-3	19	4	10	-8	-4	-19	-31	-27

業況判断D I

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
「好転」-「悪化」																			
全業種	-47	-23	-16	-19	-11	-15	-26	-20	-4	0	-9	-4	-11	-7	-14	-45	-50	-59	-66
建設業	-47	-25	-32	-21	-32	-27	-9	-20	-8	-10	-22	-12	-19	-35	-23	-48	-65	-72	-75
製造業	-53	-20	-17	-21	-3	-28	-40	-20	-5	8	3	-4	3	0	-3	-41	-40	-59	-70
流通業	-44	-26	-20	-15	7	0	5	-13	-15	-6	-35	-21	-35	-17	-23	-65	-48	-80	-54
サービス業	-41	-24	5	-16	-29	0	-39	-23	30	4	14	10	0	13	-10	-31	-63	-12	-63

<次期（3ヶ月先）見通し>（表内はその月に対する予測）

売上高D I

	94年			95年				96年				97年				98年			
「増加」-「減少」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
全業種	-7	-2	8	1	8	-6	1	-1	30	15	10	6	11	5	10	-35	-23	-31	-29

経常利益D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「黒字」-「赤字」																			
全業種	2	1	9	7	15	7	14	11	25	21	20	18	15	19	24	-7	0	-15	-9

在庫感D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「過剰」-「不足」																			
全業種	10	15	8	8	10	11	13	9	10	7	9	11	11	7	4	6	15	6	16

価格変動D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「上昇」-「低下」																			
全業種	-40	-41	-41	-42	-36	-42	-35	-44	-26	-29	-21	-26	-24	-21	-25	-43	-43	-52	-49

取引条件D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「好転」-「悪化」																			
全業種	-18	-19	-19	-20	-24	-17	-18	-20	-4	-12	-12	-17	-14	-11	-13	-27	-29	-29	-34

資金繰りD I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「余裕」-「窮乏」																			
全業種	-46	-39	-40	-46	-43	-39	-35	-36	-37	-30	-33	-42	-30	-28	-30	-42	-38	-43	-46

施設稼働率D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「上昇」-「低下」																			
全業種	-14	-10	4	-5	9	-19	-5	1	3	-2	4	7	-3	4	3	-14	-17	-30	-22

設備過不足D I

	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
「過剰」-「不足」																			
全業種	7	7	2	-1	-10	-3	-4	-2	-14	-8	-10	-11	-15	-16	-9	-1	3	5	0

<次期（3ヶ月先）見通し>（表内はその月に対する予測）

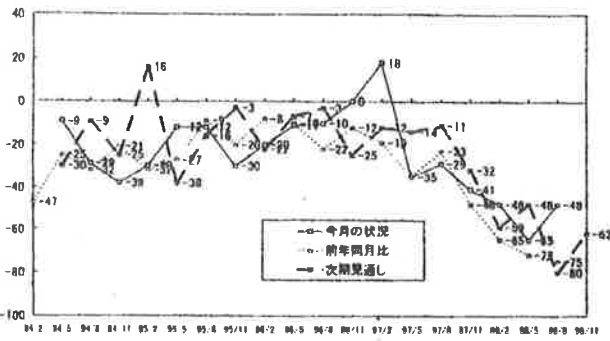
雇用動向DI

「過剩」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
全業種	4	6	-4	-18	-4	1	-1	-3	-13	-8	-15	-21	-8	-13	-19

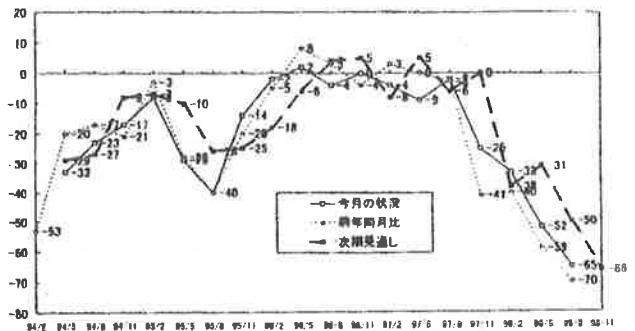
業況判断DI

「良い」-「悪い」	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
全業種	-18	-9	6	-10	-18	-17	-16	-1	0	-4	-4	-9	-8	-11
建設業	-9	-25	16	-38	-16	-3	-22	-7	-3	-25	-12	-14	-11	-32
製造業	-27	-8	-7	-10	-26	-25	-18	-6	4	5	-8	5	-6	0
流通業	-21	-4	24	7	-7	6	-7	0	-4	-11	-12	-33	-18	-13
サービス業	-11	1	6	0	-16	-31	-16	24	0	8	13	0	2	-9

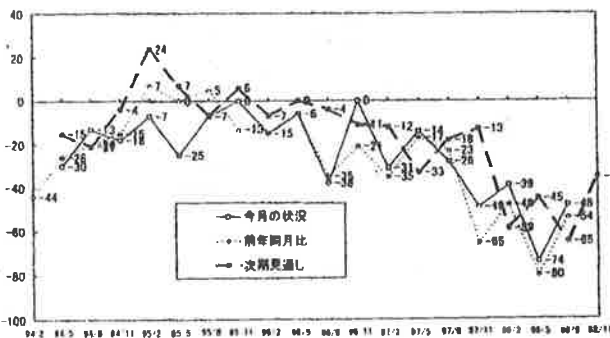
業況判断DI(建設業)



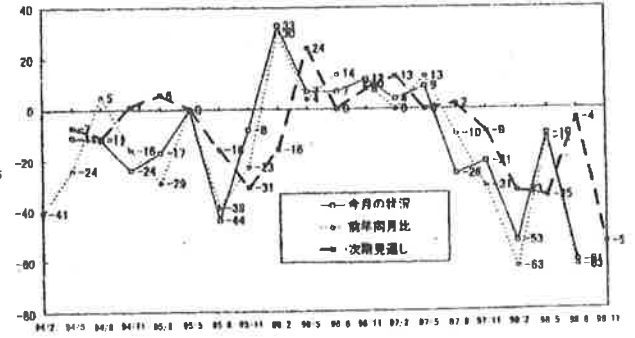
業況判断DI(製造業)



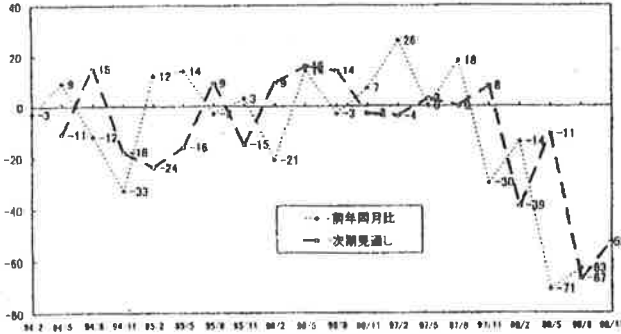
業況判断DI(流通業)



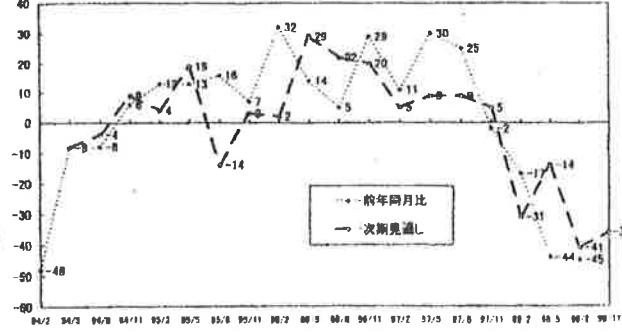
業況判断DI(サービス業)



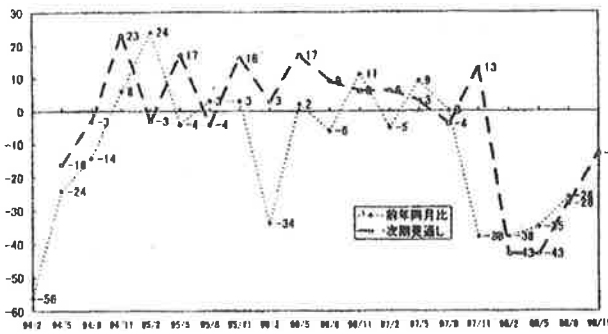
売上高推移DI(建設業)



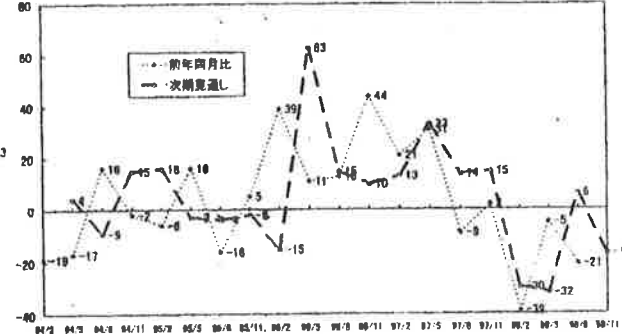
売上高推移DI(製造業)



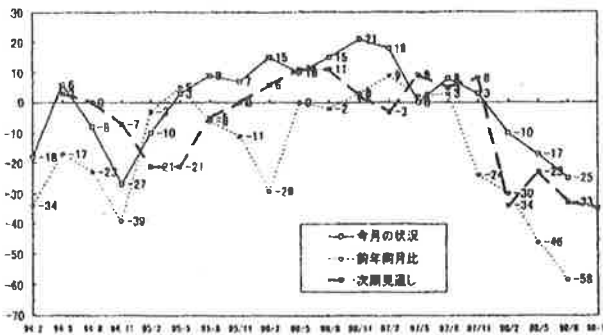
売上高推移DI(流通業)



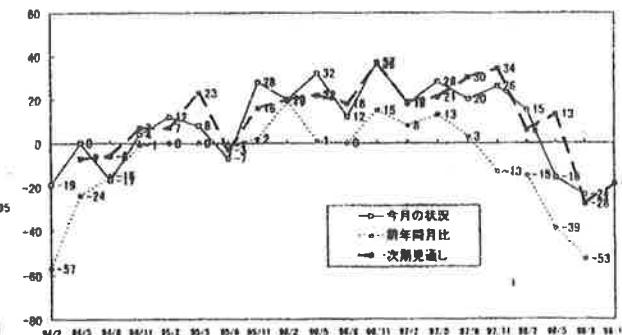
売上高推移DI(サービス業)



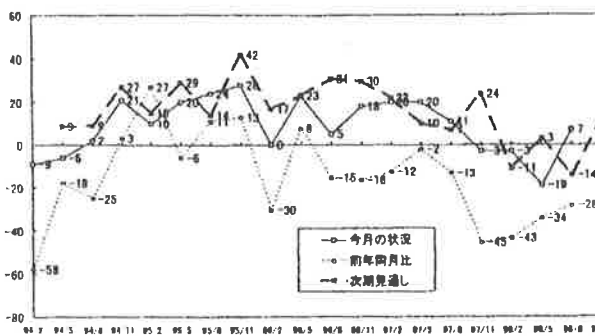
経常利益推移DI(建設業)



経常利益推移DI(製造業)



経常利益推移DI(流通業)



経常利益推移DI(サービス業)

